

森ひでお 決起集会で決意述べる

命とくらしが一番地べたをはって 真心一直線で闘う決意!

二月二十二日(水)、横浜市中区・かながわ労働プラザにおいて、横浜市会予定候補の「森ひでお決起集会」が「社民党横浜市連合・社民党を支持する横浜連絡会議(代表 菊本和仁)」の主催で開催されました。この日は春を思わず好天気に恵まれ、会場には支援して頂いている全水道、全自交「いっくの会」「寿・日雇労働者組合」「横浜市議選アクシオン」ら各労組、新社会党、緑の党ら政党・各労組・関係諸団体・市民運動の方々八十名を超える多くの方々で必勝に向け氣勢を挙げました。

▽主催者の挨拶は党横浜市連合から大庭悟彰代表、横浜連絡会議から菊本和仁代表。各界からの激励のスピーチで「女性会議 飯島典子さん、横水労組 小野和宏さん、全自交 坂本良介さん、関係団体からは「いっくの会」井上啓さん(弁護士) 新社会党神奈川委員長 手塚賢一さん、緑の党 伊形順子さん、寿日雇労働者組合 近藤昇さん、横浜市議選アクシオン事務局長 大塚要治さん、福島原発訴訟団の村田弘さんら多くの方々から激励のスピーチを頂きました。

「私が政治にかかわろうと思ったのは東日本大震災での原発事故。政治がしっかりしないと市民の命が守られないことを実感。福祉を切り捨て、ミサイル・敵基地攻撃など軍拡予算・増税は決して許されない。市民が知らないところでノーस्टロク・基地強化は非常に問題、戦争させない・憲法を守る運動を広げる。コロナ対策でいえば病床の充実、中学校の学校給食問題など諸課題に取り組む」など立候補にあたっての決意を述べました。

集会参加者は八十五名を超えました。



決意表明する「森ひでお」市会予定候補



大庭悟彰 党横浜市連合代表

まごころ 一直線
横浜連絡会議



激励にかけつけた福島みずほ党首



横浜連絡会議 菊本和仁代表



参加者全員で団結頑張ろうを三唱して勝利を誓い合いました